

学校法人稲置学園「平成27年度事業計画書」

平成27年度は、学校法人稲置学園「第2次中期目標・中期計画」の2年目にあたり、計画の5つの基本方針（充実した教育の実施、経営基盤の確立、地域社会への貢献、研究活動の推進、運営体制の改善）を中心に、継続的に教育及び環境の充実を図り、諸事業を推進する。なお、主な新規事業の計画を以下のとおり列挙する。

新学部（人文学部）の設置

金沢星稷大学に第3の学部として、人文学部を平成28年4月1日開設に向けて、業務を推進する。人文学部では、変化の激しい現代のグローバル社会において、タフなグローバル人材を養成し、経済界、教育界及び地元地域社会からの期待・要請に応える人材を養成する。

1. 充実した教育の実施

[大学・短大]

・グローバル人材育成の促進

日本語、英語による自己表現力・論理的思考を高め、また、異文化体験及び他文化理解を体験する機会を促進するため、次のプログラムを実施する。

- ①エリアスタディズ（世界5エリアへの短期間の研修プログラム）及び団体研修（グループで企画した研修）の実施
- ②受入れ留学生の日本語能力向上のために日本語教育センタープログラムの制定
- ③交換留学生制度を推進するため、本学学生への奨励金制度の充実

・大学新講義棟の建設

旧金沢星稷大学トレーニングセンターの跡地に新講義棟を建設する。新講義棟は、新設学部の専任教員研究室、各種講義室、研修室、ラーニングコモンズ等を配置し、新設学部、既設学部及び短期大学部における一部教養科目の講義を実施するとともに、国際交流センターを配置し、大学・短大学部学生の海外留学、語学研修における事務機能も設ける。

[高校・中学]

・英語能力向上と異文化理解

英語の「聞く・話す・読む・書く」基礎的能力向上と日本文化を含む異文化への理解を深めるために、以下の事業を発展的に継続実施する。

- ①エンパワーメントプログラム事業
- ②歴史リーカルツアーの充実
- ③海外語学研修の充実

・中高一貫教育

将来構想委員会内の中高一貫企画実行委員会及び検討委員会において、平成29年度開設を目標とし、具体的検討を行う。

[幼稚園]

課外活動を充実するため、「カワイ体操教室」「英語体験教室」「リトミック体験教室」等を実施する。また、昨今の保護者ニーズの個別化に柔軟に対応し、受けたい教育を受けるシステム作りを構築する。

2. 経営基盤の確立

・広報活動の拡充

[大学・短大]

マス媒体（CM、Web等）と受験生個別発信ができる媒体（ダイレクトメール等）を活用し、新設学部（人文学部国際文化学科）の情報を発信する。また、広報活動をより充実させるために、現Webサイトをリニューアル、JR金沢駅にデジタルサイネージの設置及びスマートフォンに対応する広告掲載を実施する。

[高校]

近年、全国大会に進出する中学・高等学校の生徒及び団体が増加している。その活躍を広く認知させるため、現在高校体育館に設けてある懸垂幕用のメディアタワー（現在2基）を増設する。

[幼稚園]

保護者がアクセスしやすい環境を整備することで園理解・園訪問へきっかけをつくるために、両園のWebサイトをスマートフォン対応に変更する。また、併せてアクセス解析によるターゲットの分析と対策を行う。

3. 地域社会の貢献

[地域連携センター]

・全国大学公開講座研究会シンポジウムの開催

北陸新幹線開業を記念し、初の北陸地域開催を計画する。高砂大学と連携事業を中心に、地方大学の公開講座発展に寄与する。

[幼稚園]

・地域への開放

幼稚園が地域の子育ての拠点となるよう「子育て相談」、「子育て広場」及び「園開放日」等の機会を設け、気軽に幼稚園へ立ち寄れる環境をより一層充実させる。

4. 運営体制の改善

[情報基盤センター]

・遠隔地バックアップシステム導入

学園内情報システムのバックアップデータを遠隔地に保管し、災害等においてデータが保存できるよう整備する。

・法人、学務システムサーバ更新

2014年の法人システム稼働に伴い、大学・短大の学務システムとも相まってサーバへの負荷が増加した。学園業務を取り扱うためのサーバ機材の運用を安全に実施するため、システムサーバを更新する。